



岐阜県鋳工業指数(平成23年5月分)

生産指数 前月比 4.6%の上昇

1 概況

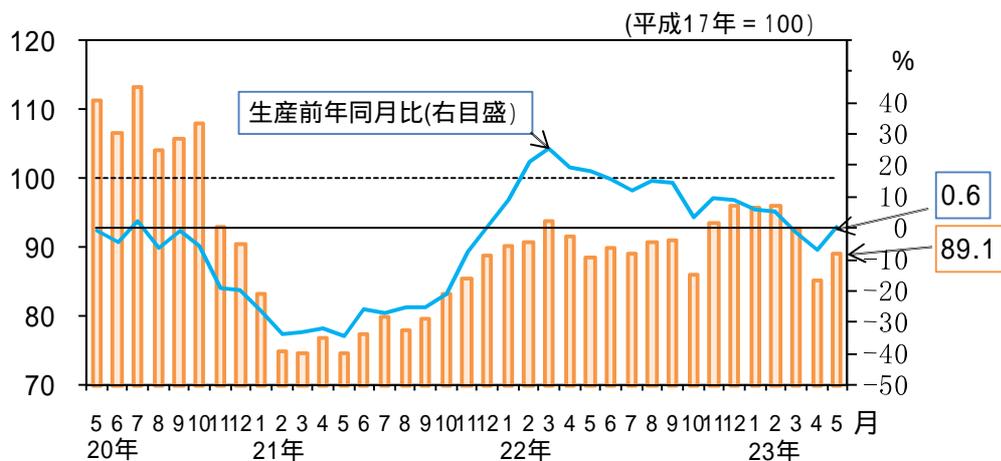
平成23年5月の県内鋳工業の動向を季節調整済指数で見ると、電子部品・デバイス工業、金属製品工業等が低下したものの、化学工業、輸送機械工業等が上昇したため、前月に比べ生産指数は4.6%増と3カ月ぶりに上昇した。また、出荷指数は3.1%減と3カ月連続で低下し、在庫指数は1.9%増と上昇に転じた。

なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は0.6%増となり、3カ月ぶりに前年を上回った。

(平成17年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	89.1	4.6	83.4	0.6
出荷	87.2	3.1	82.0	2.1
在庫	109.9	1.9	108.6	0.2

鋳工業指数(生産)推移



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、スチール又はステンレスシャッター、超硬チップ等が増加したものの、ボルトナット、アルミサッシ等が減少したため、6.9%減と3カ月連続で低下した。また、出荷は14.4%減と3カ月連続で低下し、在庫は12.4%減と前月に引き続き低下した。

機械工業の生産は、電気回路基板、超硬工具（超硬チップを除く）等が減少したものの、乗用車ボデー、研削盤等が増加したため、8.5%増と5カ月ぶりに上昇した。また、出荷は2.7%減と3カ月連続で低下し、在庫は13.8%増と上昇に転じた。

窯業・土石製品工業の生産は、タイル（陶磁器製タイル）陶磁器製台所用食卓用品等が増加したものの、触媒担体・セラミックフィルタ、生コンクリート等が減少したため、0.2%減と3カ月ぶりに低下した。また、出荷は8.4%減と前月に引き続き低下し、在庫は2.6%増と前月に引き続き上昇した。

化学工業の生産は、活性炭、無水酢酸等が減少したものの、医薬品が増加したため、25.4%増と3カ月ぶりに上昇した。また、出荷は22.7%増と4カ月ぶりに上昇し、在庫は0.5%減と前月に引き続き低下した。

プラスチック製品工業の生産は、ホース（プラスチック製）パイプ等が減少したものの、プラスチック製容器、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、1.2%増と前月に引き続き上昇した。また、出荷は1.8%増と前月に引き続き上昇し、在庫は0.8%増と4カ月連続で上昇した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	73.9	6.9	15.8	69.5	14.4	22.1	75.9	12.4	1.2
機械工業	88.4	8.5	2.0	89.4	2.7	2.5	137.0	13.8	0.7
一般機械工業	98.1	10.8	34.6	109.0	7.2	20.0	-	-	-
電子部品・デバイス工業	78.6	19.4	16.6	80.2	19.6	16.8	-	-	-
輸送機械工業	72.8	39.2	30.8	73.4	28.1	25.3	-	-	-
窯業・土石製品工業	85.1	0.2	17.3	79.3	8.4	14.9	84.1	2.6	4.1
化学工業	128.7	25.4	10.4	121.7	22.7	8.7	97.9	0.5	5.0
プラスチック製品工業	105.8	1.2	9.3	113.3	1.8	11.2	92.9	0.8	11.9

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

